

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 期間を通して太平洋高気圧が本州付近に張り出す。
- 25日は、熱帯低気圧が沖縄近海に近づく。
- 26日から28日にかけて、低気圧がアムール川下流付近を進む。

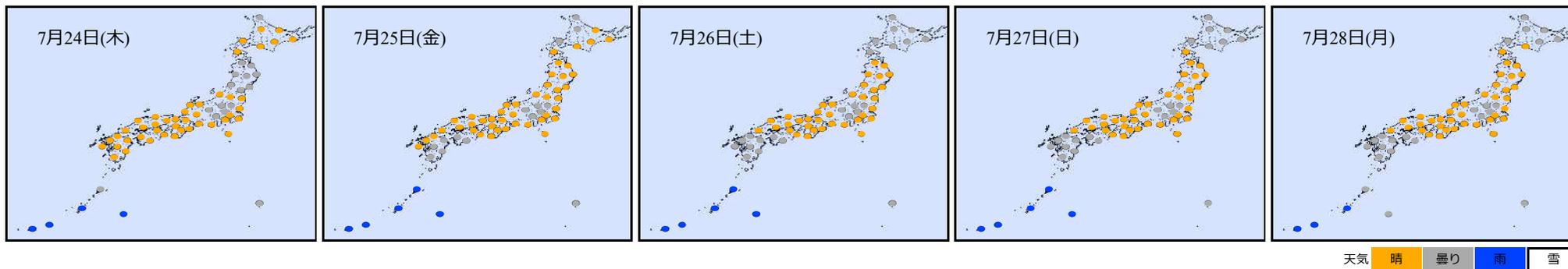
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 北日本から西日本にかけては、気温がかなり高くなり、最高気温が35度以上となる所がある見込み。熱中症など健康管理に注意。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

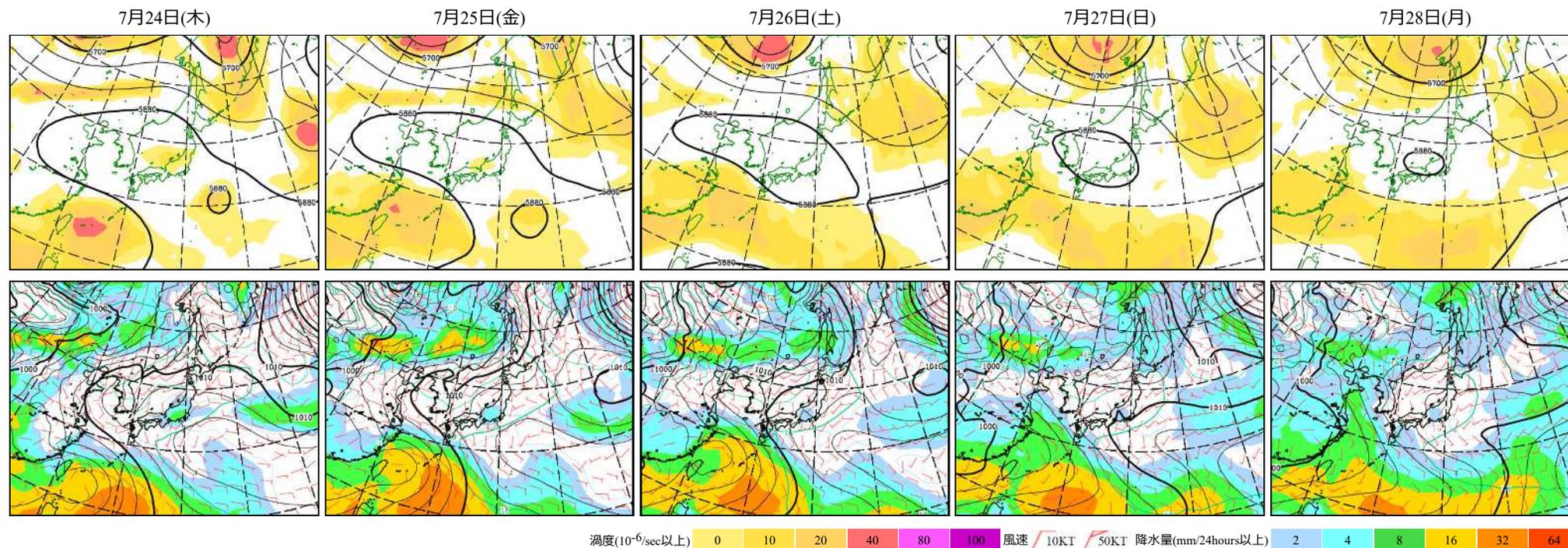
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

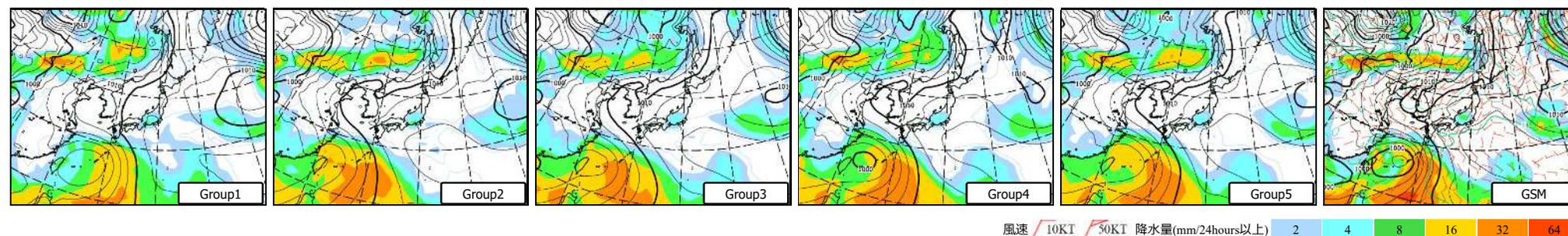


- 北海道地方は、晴れる所もあるが雲が広がりやすい。
- 東北地方と東日本は、晴れる所が多い。
- 西日本は、日本海側は晴れる所が多いが、太平洋側は雲が広がりやすい。
- 沖縄・奄美は、曇りや雨の日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆7月25日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料 (ENS) は、25日以降は日本付近でサブハイが強まる傾向になった。地上の気圧配置の予想は、25日以降も太平洋高気圧が日本の南に張り出す予想になった。
- GSMとNCEPは熱帯低気圧の予想の初期値変わりが大きく、ECMの予想に近くなった。ENSも各モデルの予想に近く、モデル間の差は昨日資料より小さくなった。
- 25日の熱帯低気圧の位置について、ENSでは先島諸島近海に予想するメンバーが多いが、熱帯低気圧が発達すると予想するメンバーは僅かとなっている。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。